

Q プレセンタ療法による脊柱管狭窄症の改善率は？ A 重症例も含め約六割の人が大幅改善

●数回の注射で痛みが消える例が続出

難治の腰部脊柱管狭窄症を、手術せずに改善に導ける画期的な治療法として、AKA療法とともに注目を集めているのが、「プレセンタ療法」です。

当院では、脊柱管狭窄症による腰痛や下肢痛を訴える患者さんに対し、まずはほかの病医院と同じように、消炎鎮痛薬や温布薬、神経ブロック注射などの治療を行っています。これで改善すればいいのですが、ほとんどの場合、満足を得られないこと

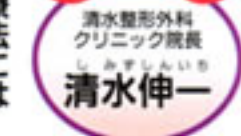
はありませんが、そのため、多くの患者さんが、複数の病医院や治療院を訪れるのです。だからといって、手術を受ければいいのかというところではなく、一時的に症状は消失するものの、数年後に再び痛みやしびれが現れる場合も少なくありません。

このような重症の脊柱管狭窄症の患者さんに対し、当院では、プレセンタ療法を行っています。すると、数回の注射で痛みやしびれがなくなるケースが続出し、医師の私でさえ驚くほどです。

プレセンタ療法には患者さんの大半が満足

プレセンタとは、哺乳動物の「胎盤」を意味し、一般に人間やブタの胎盤から抽出されたエキスのことをいいます。

胎盤は、たった一個の受精卵を胎児に成長させる臓器。そのため、ありとあらゆる栄養や生理活性物質（体の働きを活発にする物質）を豊富に含んでいます。それらの物質が、弱った機能や組織を修復したり、不足した成分を体自身が作るように促したり、自然治癒力を強めたり



清水伸一先生が診察されている清水整形外科クリニックは、〒300-0418 春日部市大塚地区元町二二四一八 番〇四八—八八一—六七三八です。私には、脊柱管狭窄症の治療に当たるとき、①腰痛、②下肢痛、③下肢のしびれ、④歩行距離、⑤治療満足度の五項目で病状をチェックします。

そのうち、⑤の治療満足度を、「非常に満足」「満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」「非常に不満足」に分け、これまでプレセンタ療法を受けた患者さんに記録してもらってました（記録を始めたのは一年半前から）。「脊柱管狭窄症は約50人」。

その結果、プレセンタ療法に對して、約10%の人が「非常に満足」、約40%の人が「満足」と答えました。そのほか、「ふつう」と答えた人が三六%で、「やや不満足」が四%でした。「不満足」「非常に不満足」と答えた人は一人もいませんでした。

そして、病状チェックの①～④においては、来院時より改善した人が六二%いて、悪くなった人は一人もいなかったのです。つまり、プレセンタ療法を受ければ、約六〇%の人になんらかの改善が見られ、それ以外の人にも進行を妨げる効果が期待できることになりました。

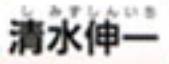


プレセンタで腰痛の改善する人が多い

プレセンタ

Q プレセンタ療法はなぜ効く？

A 傷んだ腰椎や神経を修復し炎症を鎮める成分が多いため



清水伸一

二〇もの薬理作用が備わるプレセンタ

- 脊柱管狭窄症の病態には、次の三つがあります。
- ① 腰椎の神経が圧迫されるに伴う痛み（腰痛）
- ② 足への神経が圧迫されるに伴う痛み（下肢痛）
- ③ 神経の圧迫に伴う循環障害（痛みのせいでこま切れにしか歩けなくなる間欠性跛行という症状）

は、①に対して消炎鎮痛薬、②に対して神経の働きを正常にするビタミンB₁₂、③に対しては血行促進薬、といった薬剤を処方してきました。いわば、対症療法に終始していたわけです。

作用、③の間欠性跛行に対しては、血行促進作用が中心になって働きます。つまり、プレセンタが脊柱管狭窄症の病態を改善に導くのは、その薬理作用が、通常の薬剤のような単一の働きによるものではなく、複合的に同時に作用することで何倍にも強化されるからだと思われれます。

◆ プラセンタとは ◆



プラセンタは、哺乳動物の胎盤のこと。母親と胎児を結び栄養や酸素を供給したり老廃物を排泄したりするほか、ホルモン分泌や免疫機能を担い、細胞増殖因子を産生して胎児の成長を促す。

◆ プラセンタの20種の薬理作用 ◆

- ① 基礎代謝向上作用
- ② 細胞活性化作用
- ③ 呼吸促進作用
- ④ 血行促進作用
- ⑤ 造血作用
- ⑥ 疲労回復作用
- ⑦ 血圧調節作用
- ⑧ 自律神経調節作用
- ⑨ ホルモン調整作用
- ⑩ 免疫強化作用
- ⑪ 活性酸素除去作用
- ⑫ 抗突然変異作用
- ⑬ 創傷回復促進作用
- ⑭ 抗炎症作用
- ⑮ 抗アレルギー作用
- ⑯ 体質改善作用
- ⑰ 強肝・解毒作用
- ⑱ 妊婦の乳汁分泌作用
- ⑲ 食欲増進作用
- ⑳ 精神安定作用

再生医療で注目される成分が豊富

プレセンタがこのように有効な薬理作用を発揮するのは、胎盤にさまざまな栄養と生理活性物質（体の働きを活発にする物質）が豊富に含まれているからにはかなりません。たんぱく質・脂質・糖質の三大栄養素はもとより、必須アミノ酸（体内で合成できないたんぱく質の構成成分）を含め十数種類のアミノ酸が含まれています。

また、プレセンタには、ビタミンやミネラル（無機栄養素）のほか、少なくとも一〇〇種類を超える酵素（体内の化学反応を助ける物質）が含まれていることも確認されています。

そのうえ、プレセンタには、細胞の増殖を強く促して組織の修復を助ける成長因子など、再生医療の分野でも注目される生理活性物質も多数含まれているのです。これらの成分が、前述の薬理作用を発揮して傷んだ腰椎や神経を修復し、炎症を抑えることで、脊柱管狭窄症が改善されるのだと考えられます。